

4 地区小体連のあゆみ

[1] 宮崎市小学校体育連盟

I 年間事業

期 日	曜	事 業 名	主 な 内 容	会 場
4月27日	金	常任理事会	年間事業計画・第1回理事会内容について	生目台東小学校
5月8日	火	第1回理事会	役員選出 事業計画	中央公民館
5月29日	火	常任理事会	水泳競技大会検討・研究推進	生目台東小学校
6月8日	金	第2回理事会	水泳競技大会検討・研究推進	中央公民館
7月中旬		各ブロック	水泳大会プログラム編成	各ブロック
7月26日	木	第3回理事会	水泳大会前日準備	各会場
7月27日	金	第50回宮崎市小学校水泳競技大会		各会場
		常任理事会	水泳大会結果集計	生目台東小学校
8月3日	金	常任理事会	水泳大会反省・陸上競技大会検討・研究推進	生目台東小学校
8月8日	水	体育科授業力ステップアップセミナー		生目台東小学校
8月23日	金	第4回理事会	陸上競技大会検討 研究推進	中央公民館
10月11日	木	常任理事会	陸上競技大会プログラム編成	生目台東小学校
10月22日	月	第5回理事会	陸上大会前日準備	県総合運動公園
10月23日	火	第53回宮崎市小学校陸上競技大会		県総合運動公園
10月26日	金	宮崎県学校体育研究発表大会児湯・西都地区大会		川南町立川南小学校
12月6日	木	授業研究会	山崎 努 教諭 授業研究・研究協議	大塚小学校
12月7日	金	授業研究会	金丸 誠 教諭 授業研究・研究協議	西池小学校
1月25日	金	常任理事会	年間反省・次年度に向けて	生目台東小学校
2月15日	金	第6回理事会	年間事業報告・研究部反省 事業部反省・次年度の計画	中央公民館

II 事業部のあゆみ

1 水泳競技の部

- (1) 大会名 第50回宮崎市小学校水泳競技大会
- (2) 実施日 平成30年7月27日(金)
- (3) 会場 13ブロック会場
石崎の杜鯨館室内プール、倉岡小学校、檜小学校、附属中学校、宮崎小学校、小松台小学校、生目台東小学校、恒久小学校、国富小学校、学園木花台小学校、広瀬小学校、高岡小学校、大久保小学校
- (4) 出場者 宮崎市内各小学校5、6年生代表児童(のべ2784名)
- (5) 実施種目 ○ 25m(自由形、平泳ぎ) ○ 50m(自由形、平泳ぎ)
○ 100mリレー ○ 200mリレー
- (6) 競技方法 ○ タイムレースとする
○ 出場は、リレーを除き、一人1種目とする。
○ 競技は、原則として学年別、男女別とする。
○ 細部については、宮崎市小学校体育連盟による競技規則を適用する。

(7)	日程	開会式	8 : 4 5	競技開始	9 : 0 0
		競技終了	1 1 : 0 0	閉会式終了	1 1 : 2 0

(8) 表彰

- 各ブロックで測定した記録を集計し、上位 1 0 位までを入賞とし表彰する。
- 各ブロック内、個人種目は 3 位以内、リレー種目は 1 位に賞状を渡す。
- 参加児童全てに記録証を渡す。

(9) 反省

本年度は、1 3 のブロックに分かれて大会を実施した。2 5 m プールを使ったので、昨年度とは違い 2 5 m 競技や 1 0 0 m リレーを種目に入れ、より多くの児童が参加できる大会にした。自分の記録への挑戦や他の学校の児童との競争が十分に図られた。

参加した児童は学校での事前指導が十分に行われており、きびきびと行動することができた。また、応援する態度も良く、最後まで熱心な声援が響いていた。また、ブロック開催であったので、近隣の学校同士ということもあり自分の学校以外の選手を応援する姿が多く見られ、参加児童の親睦が図られた。また、どの会場も選手児童の保護者等が多く観戦し、熱心な応援が見られた。

競技進行を体育主任が中心に行い、役員として参加された先生方の協力もあってスムーズに進んだ。また、それぞれの会場で児童や応援の方の熱中症対策を行ってもらい、大きな事故等が起こらずに大会を運営できた。バスの送迎についても、業者との連絡を密にする計画を立て問題なく行われた。

次年度は、大会方法等や内容を見直し、新しい形で水泳大会の在り方を考えながら、児童にとって意義深い大会になるようにしていきたい。

2 陸上競技の部

- | | | |
|-----|------|--|
| (1) | 大会名 | 第 5 3 回宮崎市小学校陸上競技大会 |
| (2) | 実施期日 | 平成 3 0 年 1 0 月 2 3 日 (火) |
| (3) | 会場 | KIRISHIMA 宮崎県総合運動公園ハイビスカス陸上競技場 |
| (4) | 参加児童 | 宮崎市内小学校 6 年生 (参加人数 3 7 9 6 名) |
| (5) | 競技種目 | ◎一般参加種目 8 0 m 走 5 0 m ハードル走 ロードレース
◎選手参加種目 1 0 0 m 走 5 0 m ハードル走 8 0 0 m 走 (女子)
1 0 0 0 m 走 (男子) 走り幅跳び 走り高跳び
ソフトボール投げ 4 0 0 m リレー |
| (6) | 競技方法 | ○ 選手種目については、タイムレースとする。
○ 児童の出場は、リレー (選手) を除き一人 1 種目とする。
○ 児童の服装は、体育服とし、スパイク使用は禁止とする。
○ 細部については、宮崎市小学校体育連盟による競技規則を適用する。 |
| (7) | 日程 | 開会式 9 : 1 0 競技開始 9 : 5 0
競技終了 1 5 : 0 0 閉会式終了 1 5 : 2 0 |

(8) 表彰

- 選手種目市内上位 1 0 位までを入賞とし表彰する。
- 陸上教室参加児童すべてに記録証または努力賞を渡す。

(9) 反省

市内全小学校 6 年生と役員、保護者等で 4 0 0 0 人を超える人が集まる盛大な大会となった。選手の児童、一般走の児童どちらも競技に粘り強く取り組み、自己の能力を向上させようと自分の出場する種目に取り組んでいた。また、学校での学習がしっかり行なわれており、ルールをしっかりと把握し、記録に挑戦していこうとしていた。自分の記録がよくなって喜ぶ児童の姿や順位が上位に入って喜ぶ姿も見られた。応援では、自分たちの学校の応援はもちろんのこと、隣接する学校と共同で応援する学校もあり、親睦を図り友情を育てることができた。

昨年度に引き続き、写真判定機の操作補助等、陸上連盟の方々に協力をいただいた。陸上連盟の方々には、審判や判定の仕方等にも助言をもらい大変感謝している。今後もぜひ協力を要請したいと考えている。また、各学校の役員になった先生方も積極的に大会の運営に携わっていただいた。

バスの予算化や手配を学校教育課が行ってもらい、たいへんありがたい。本年度は、業者の配車の関係により、早い時間帯に出発する学校や帰りが遅くなる学校がでてきた。今後、学校教育課や業者の方との打合せ等を行い、児童・職員の負担を減らしていきたい。

市内全小学校の 6 年生が一堂に会して大会を開催する意義は大きい。大規模な大会を開催する上で配慮すべきことはいろいろとあるが、子どもたちのために今後も努力していきたい。来年度は、2 つのブロックに分かれて陸上大会を開く予定である。